

LEXT OLS-3100

共焦点レーザー顕微鏡
簡易マニュアル

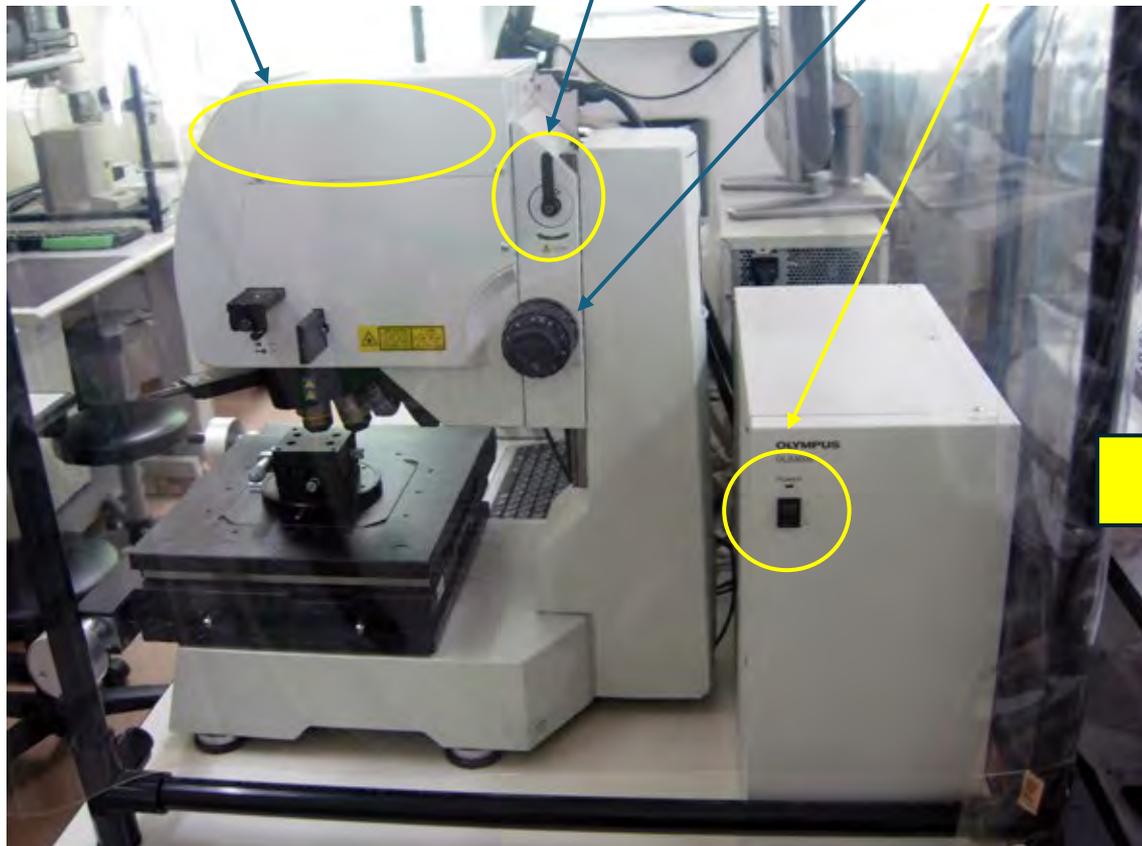


測定ヘッドを支えながら上下設定

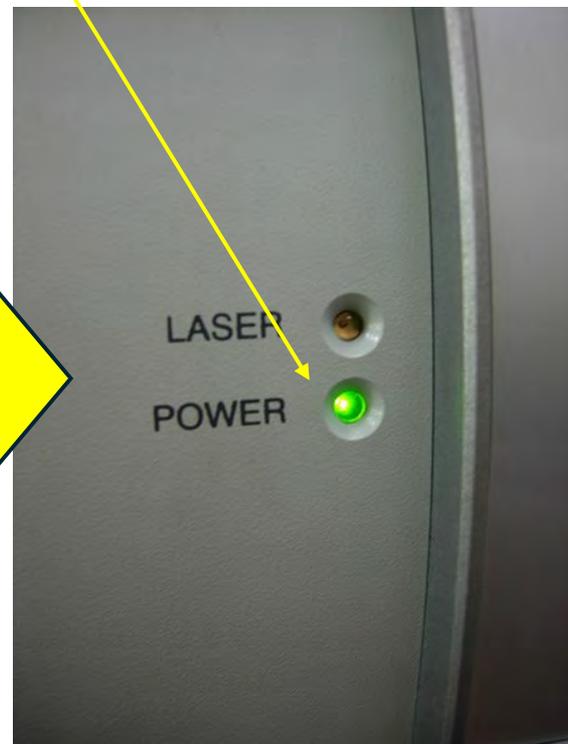
※50倍レンズの場合、その後の微調整は手動ではなく画面上のクリックで行う。

408nmレーザー搭載

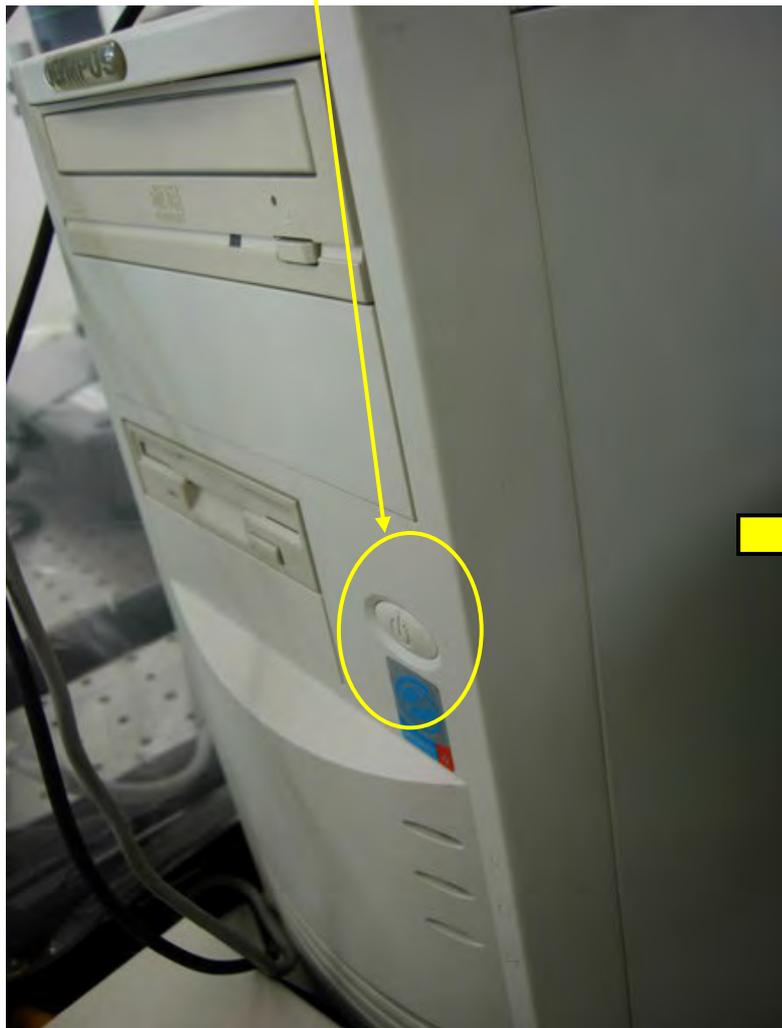
本体の電源スイッチを入れる①



加工ヘッド前面のPOWER点灯



ディスプレイ背後にあるPCの電源スイッチ入れる②



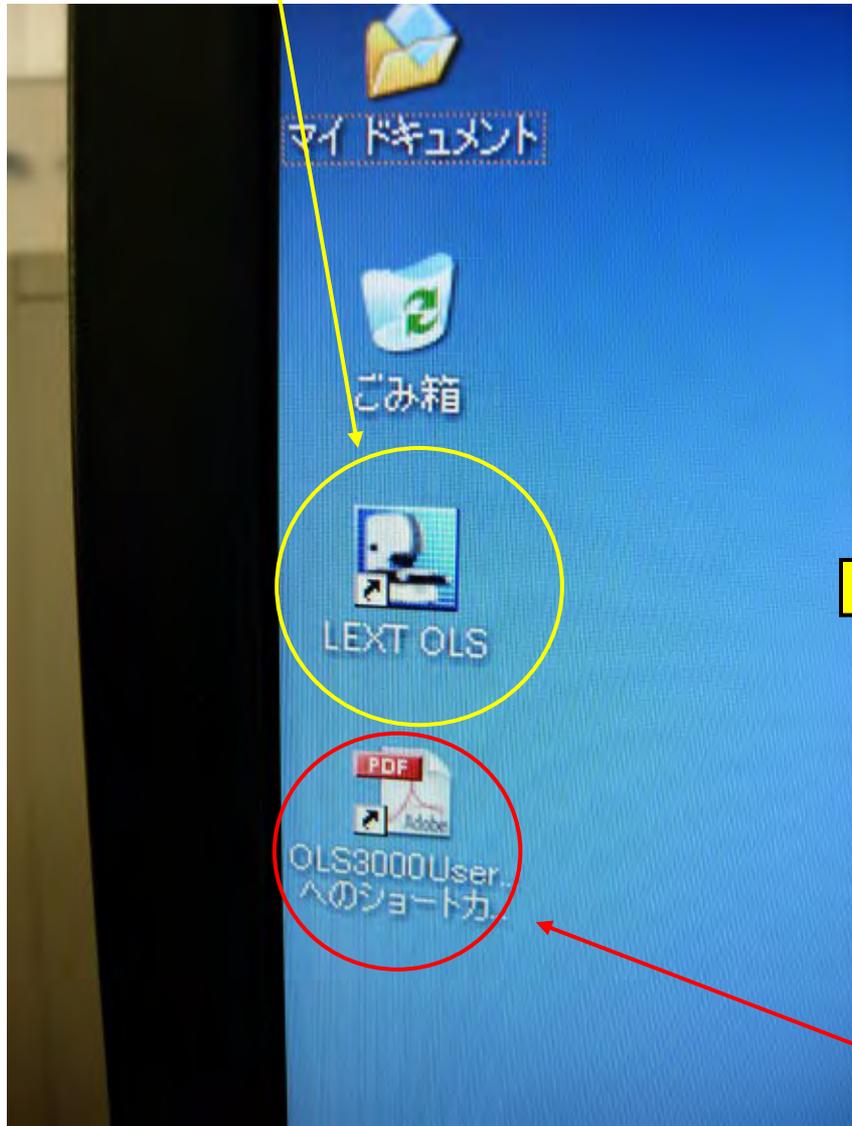
ログイン画面 PWなし



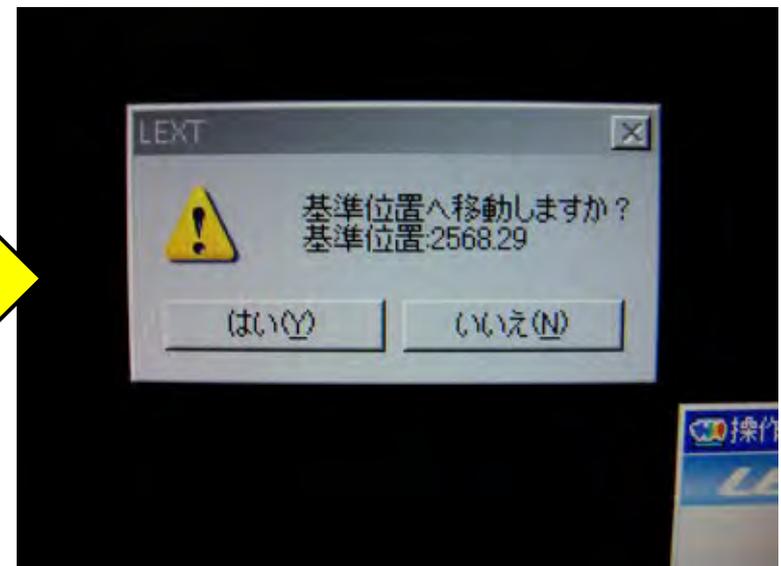
※2025年1月：PC不調

原因：内部メモリー（デュアル）2枚の内、1枚が不良
容量2倍のメモリー1枚と交換したら問題は解決

ソフトを立ち上げる③



基準へ移動させる④



※詳細はこのマニュアルを参照すること

☆ソフトを立ち上げると同時に、この「操作ナビゲーション」が立ち上がる。
基本的な計測操作はこれに従って行えばよし。



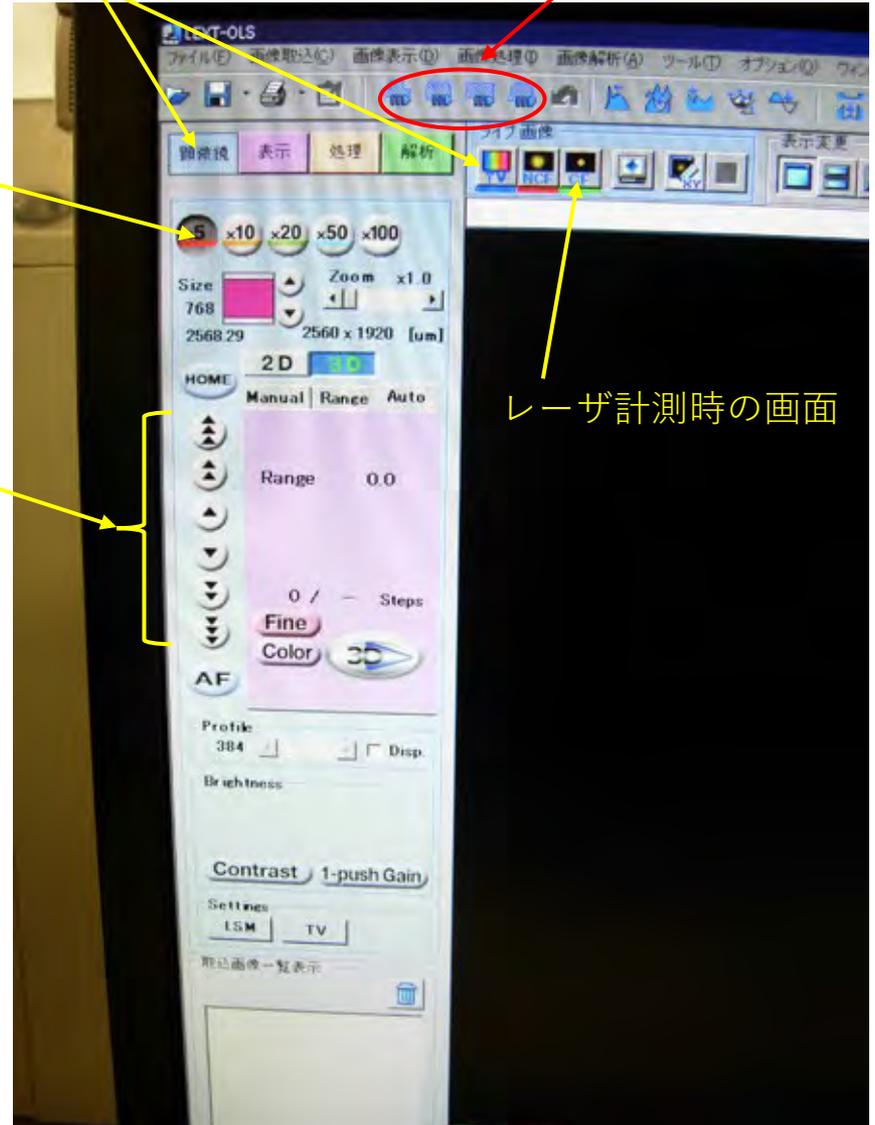
顕微鏡画像を映し出す

フィルタ

対物レンズ：自動切り替えボタン
まずは低倍率レンズにセットする。

焦点合わせ ⑥

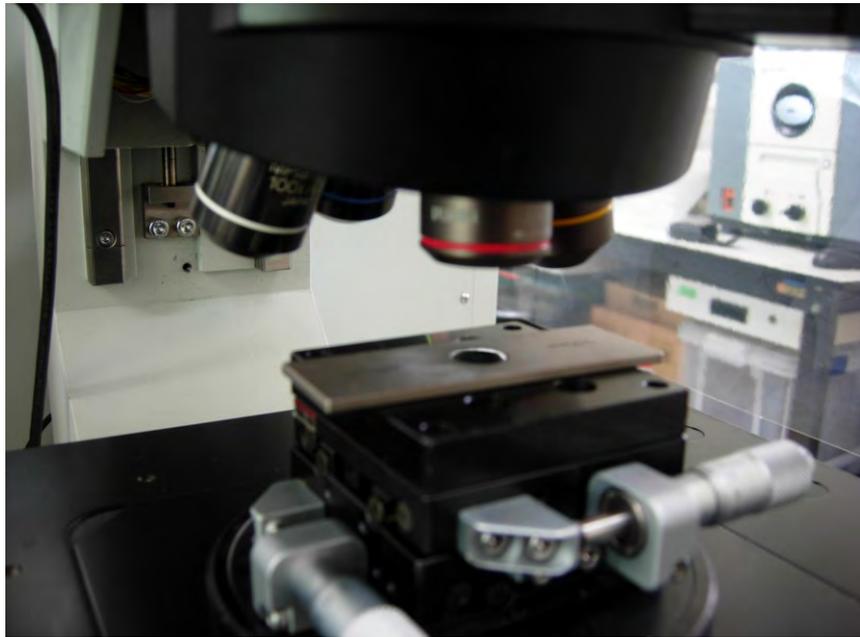
- ・レバーでヘッドを移動
- ・ダイヤルで調整
- ・クリックで上下にヘッドを移動させ最終的な焦点合わせを行う



レーザー計測時の画面

立ち上がった画面

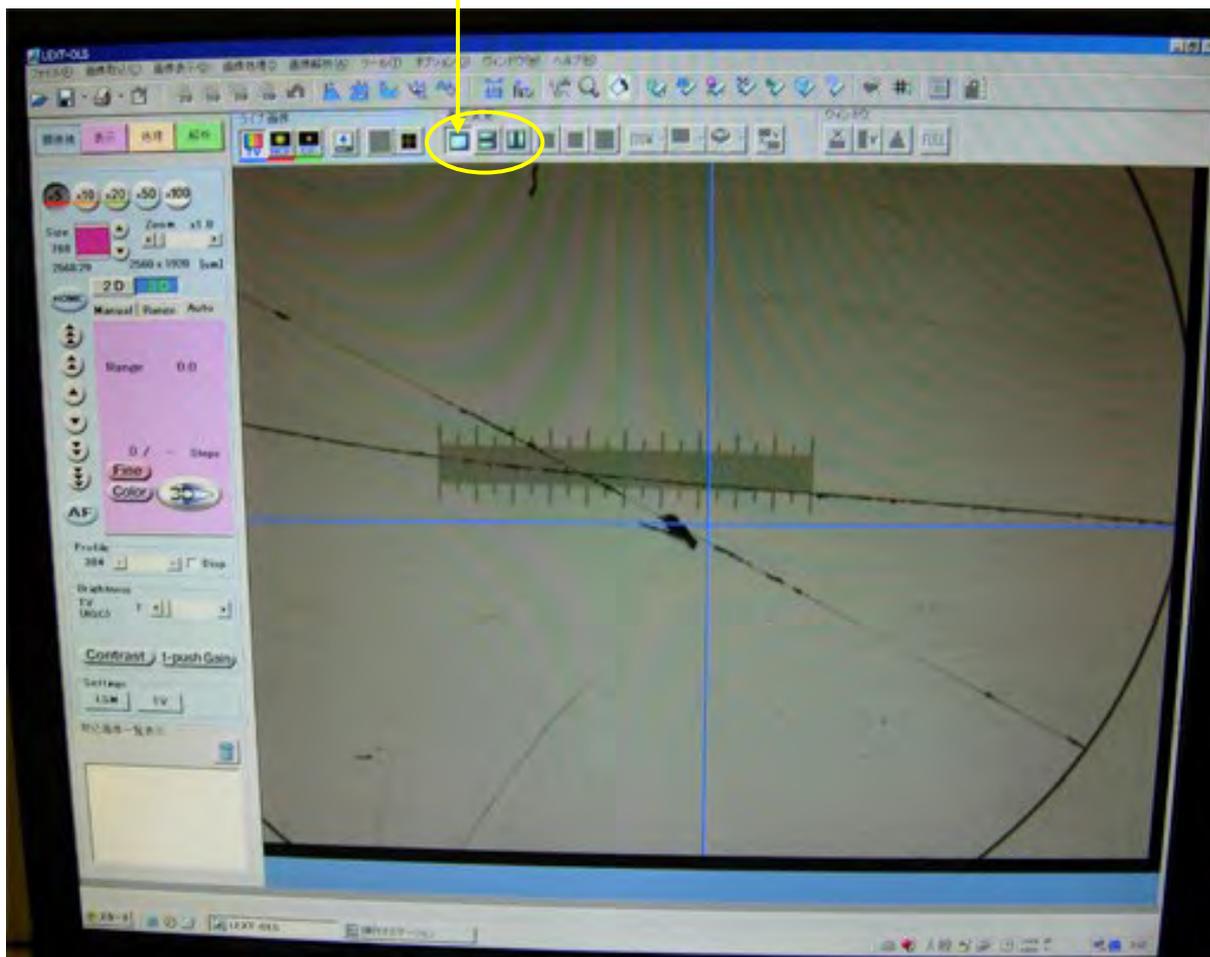
ヘッドを支えながらこのレバーを緩めて上下に移動させて、大方の焦点位置を出す。⑥



スケールを例に計測を行ってみる。

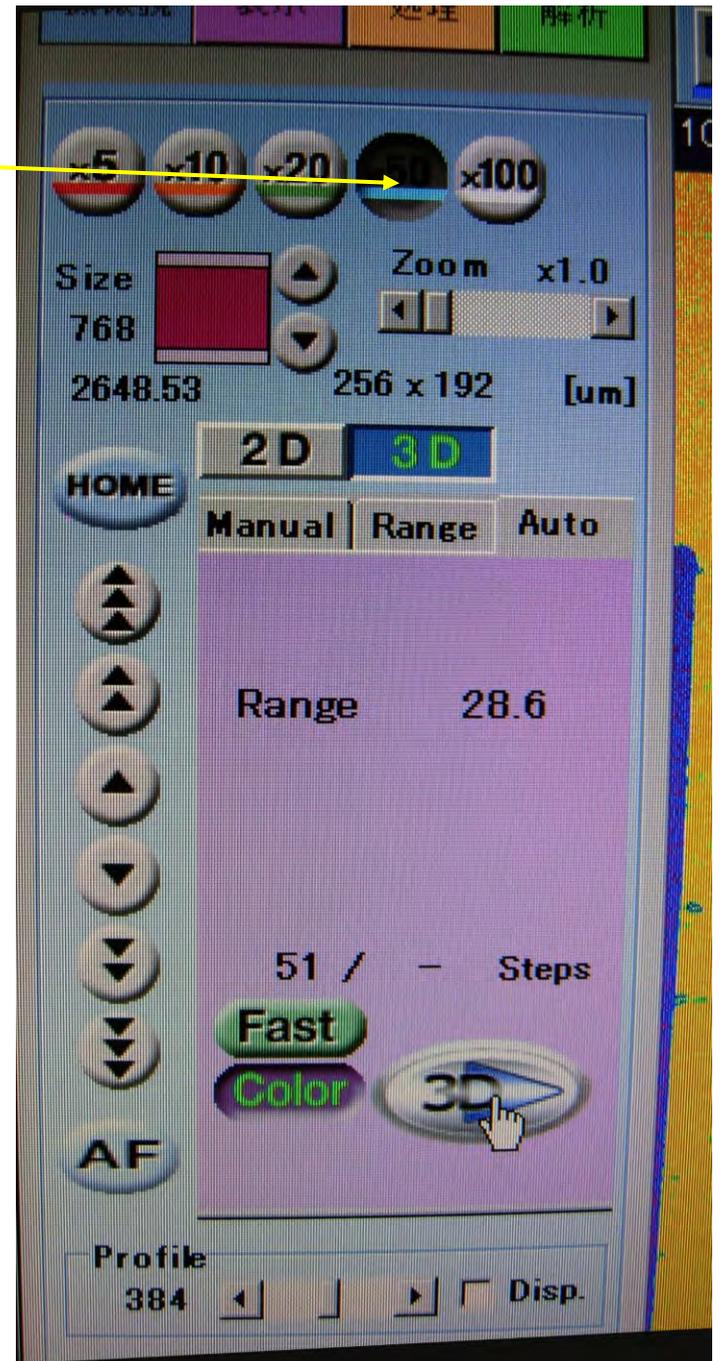
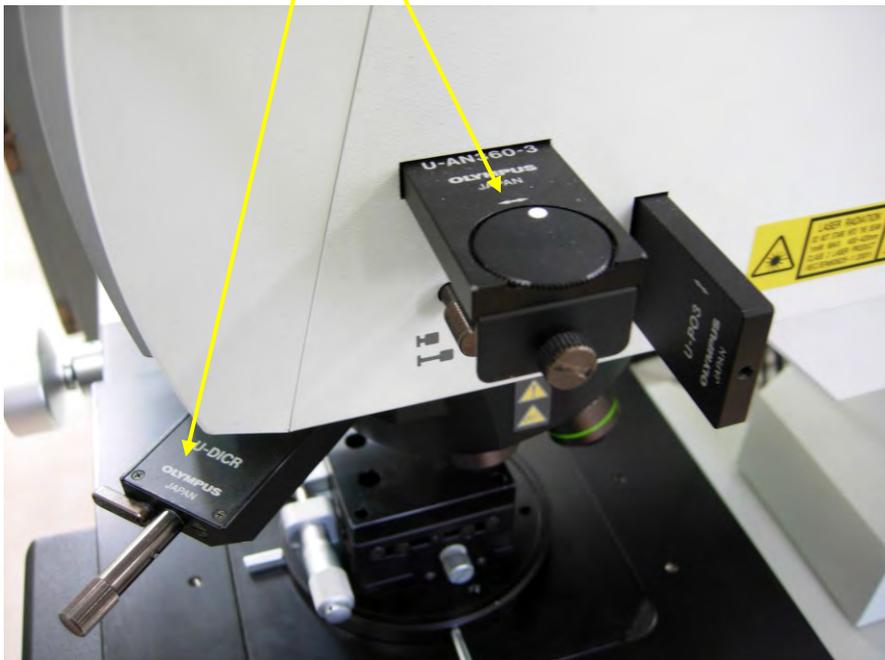


画面の分割ができる。



レーザ計測は50倍以上を使用することを推奨 ⑦

微分干渉で使用するこれらの素子を引き出す。
レーザ損傷を回避するため。⑧

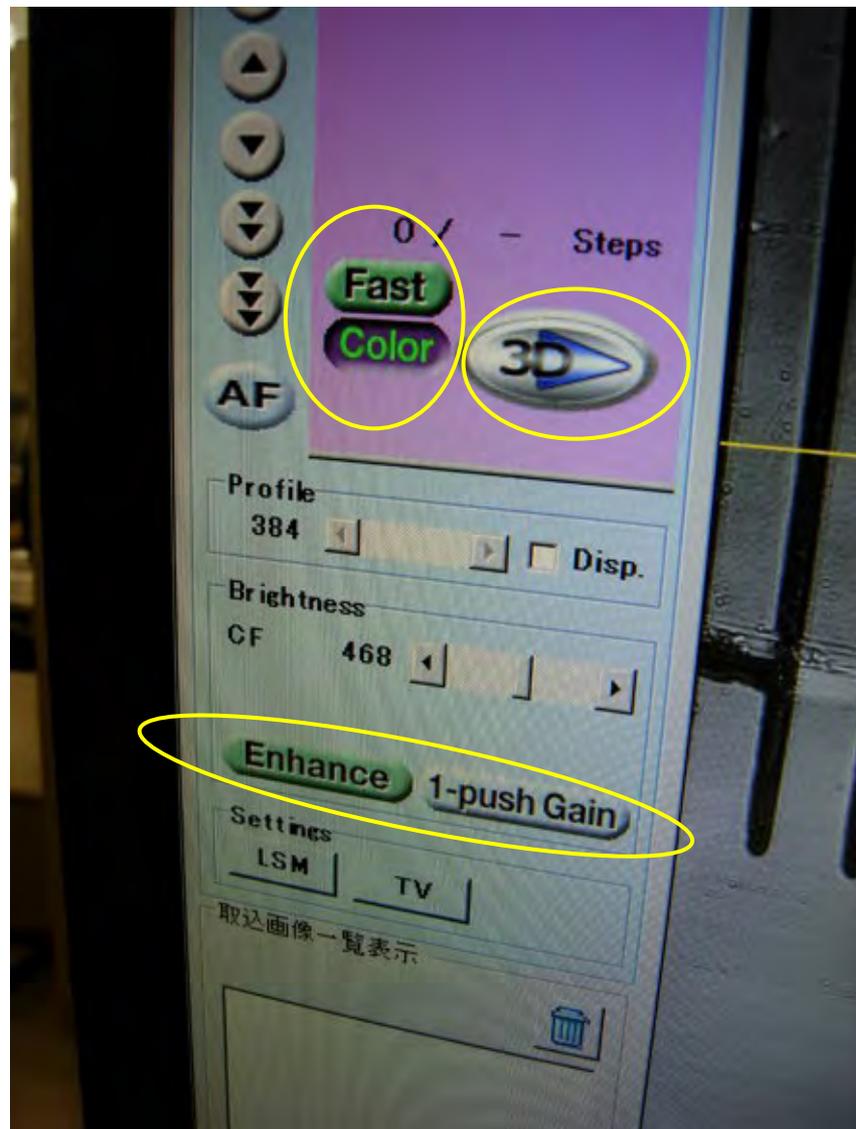


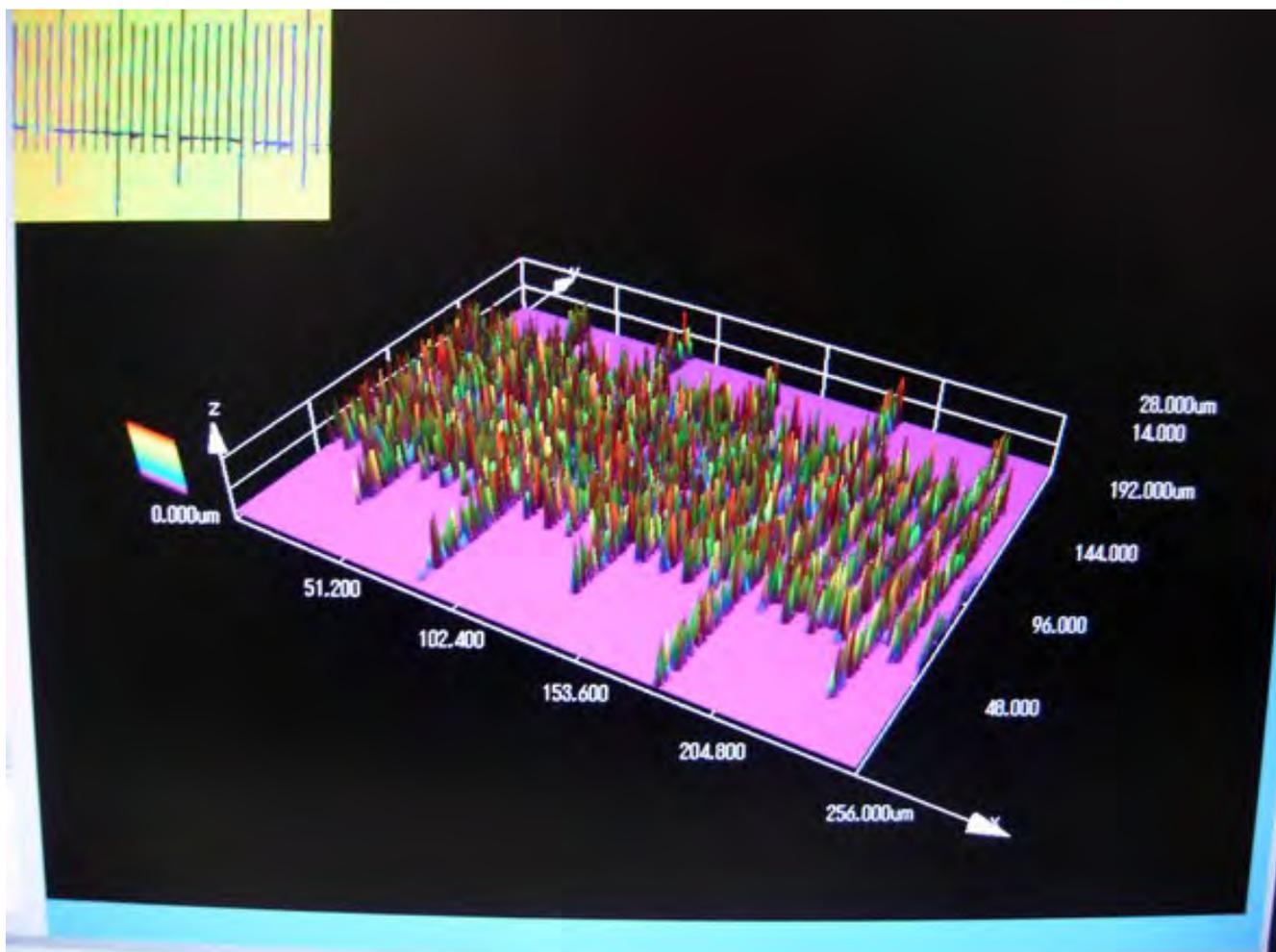
レーザ計測

Fast、Enhanceに設定⑨

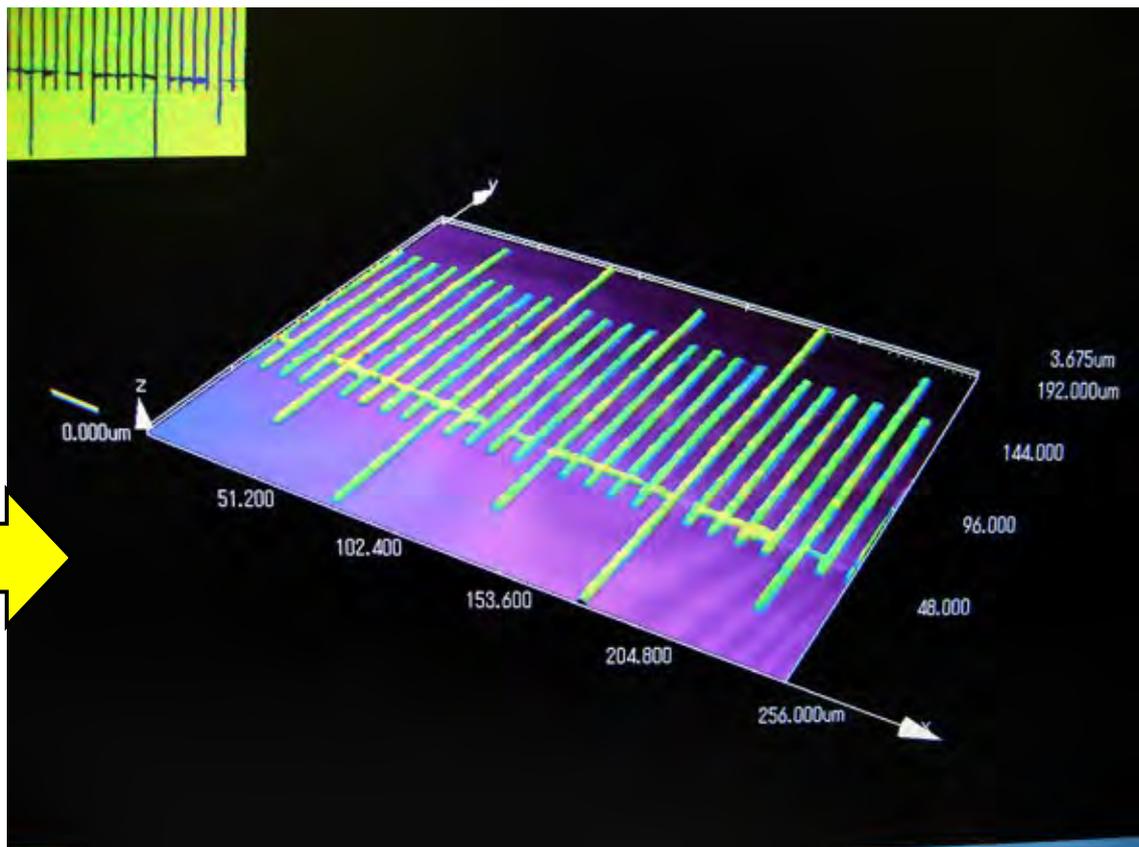
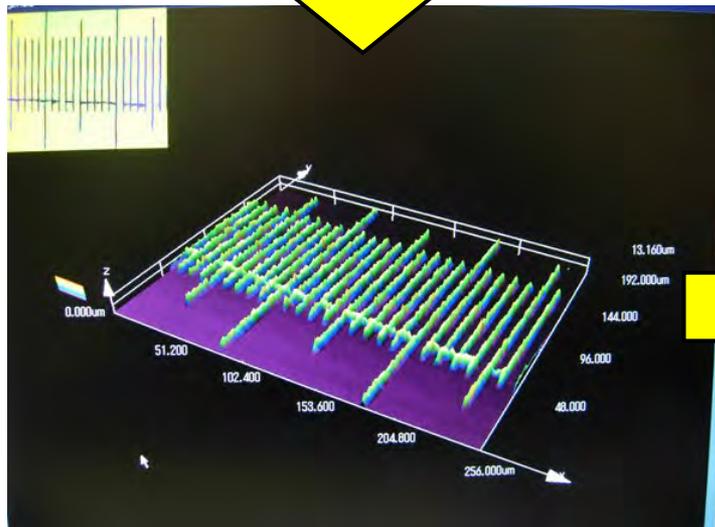
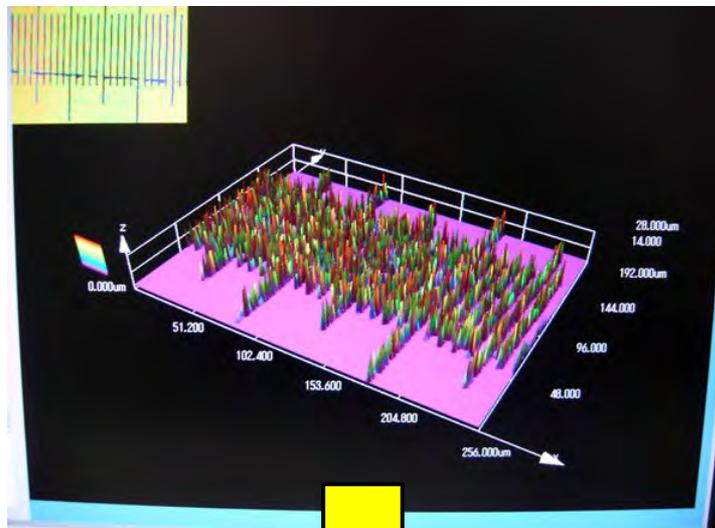
3Dボタン：スキャンの上限、下限を設定しなくてもAUTOで計測できる。⑩

より詳細を知りたい人は本マニュアルで確認すること。



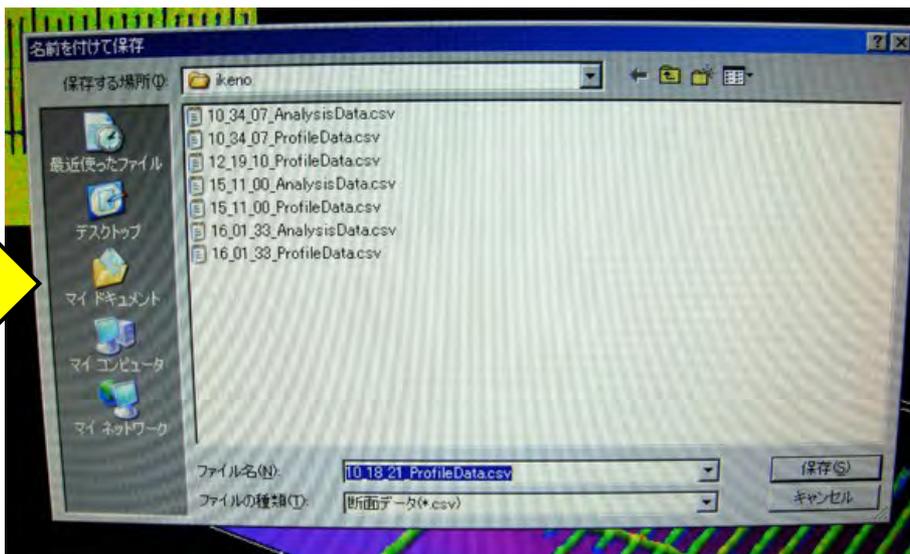
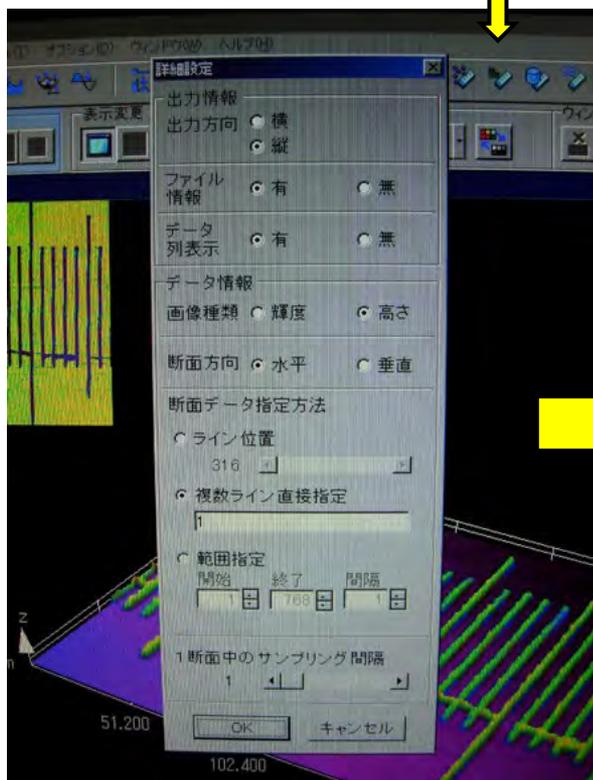
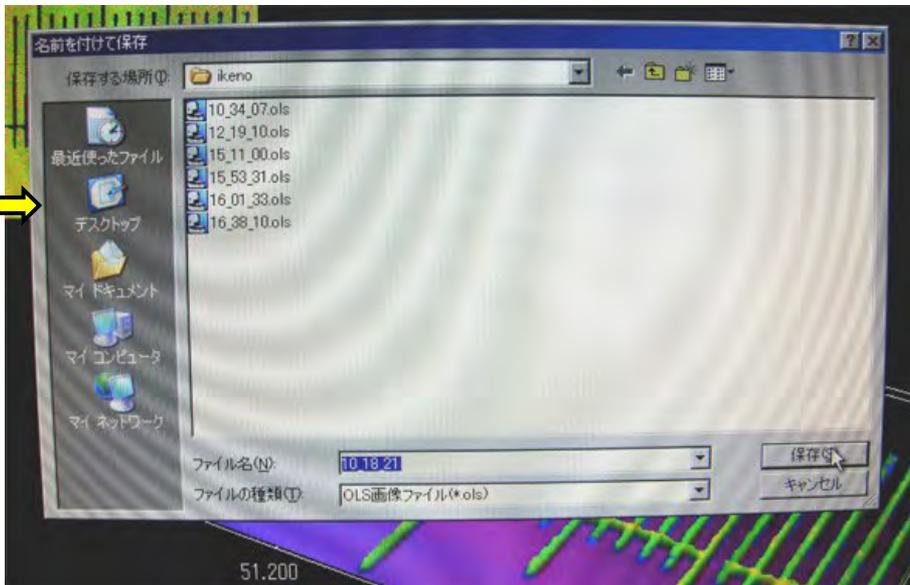
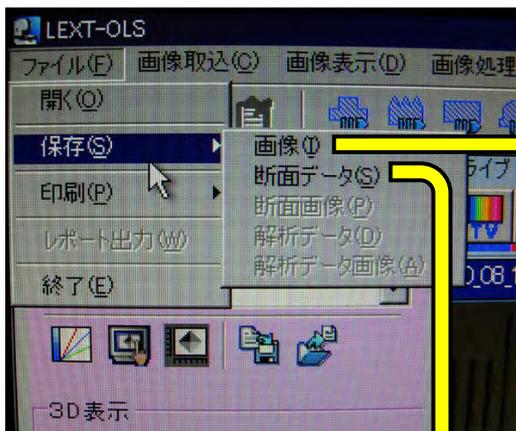


レーザ計測結果
ノイズあり

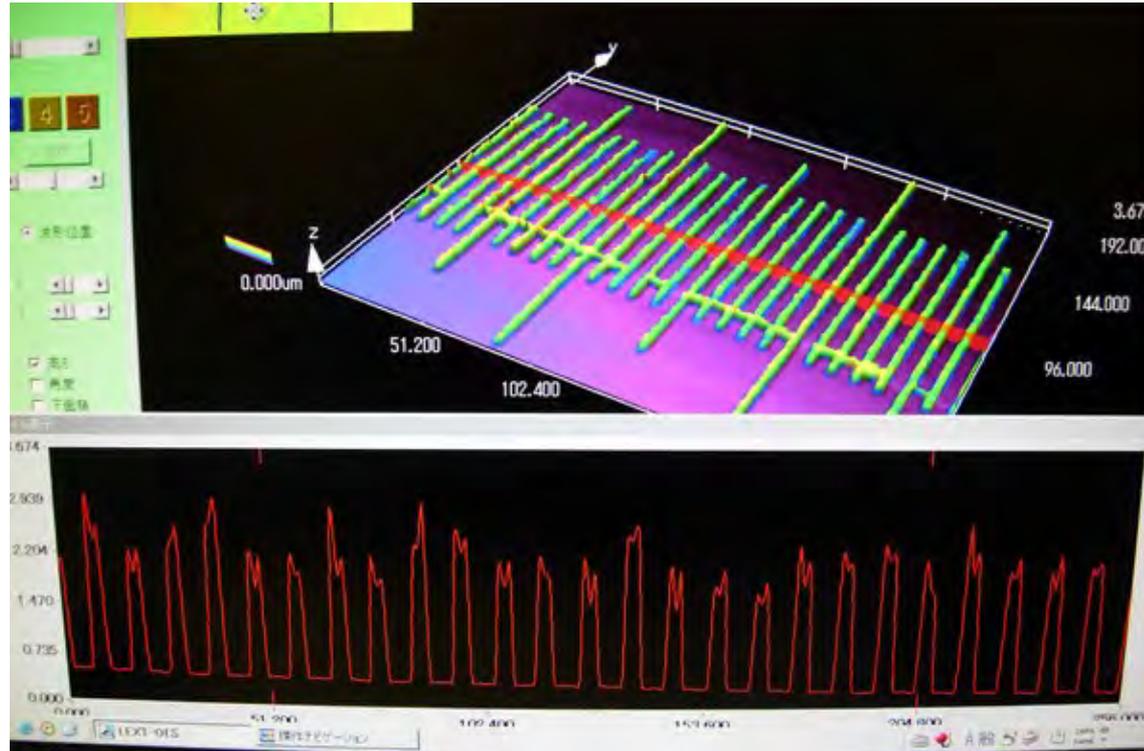


表面の状態によつてフィルタをかけてノイズをカットする⑪

自分のフォルダを作ってデータ保存 ⑬ 解析データも保存



解析 段差測定例



- ファイルを保存したら、アプリを終了する。⑭
- 対物レンズは5倍に戻る。
- 測定対象物をステージから下ろす。⑮
- 本体電源を切る。⑯

